

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ～ +105℃ (注2)	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧 	AC, DC 600 V (UL, TUV) AC, DC 1000 V	—	—	
	電 流	—	適合ケーブル	φ10.1±0.6	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外觀、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタに DC 1A で測定する。	2 mΩ 以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	5000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 4260Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	インパルス耐電圧	嵌合状態にて端子番号1, 2-3間に15 kVの標準波形（電圧波形1.2/50 μs、極性 正・負 印加回数各3回）を印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機械的性 能	コネクタの挿抜力	— の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 — 以上	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。（ロック機構を除く）	挿抜力 100N以下	○	—
	端子固定力	圧着結線した適合コンタクトを組込後、電線に引っ張り加重を加える。	50N以下で端子の移動が無いこと。	○	—
	繰り返し動作	200 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗：4mΩ 以下	○	—
	耐振性	周波数 10～500～10Hz/サイクル、片振幅0.75mm、加速度98m/s ² 、11分/サイクルで3軸方向各3時間試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² 、持続時間11ms、正弦半波3方向各3回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないと。	○	—
環境的性 能	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +125℃ → 常温 時間30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗：5000MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度40℃、湿度90～95 %中に96時間放置する。	①絶縁抵抗：50MΩ以上（高湿時） ②絶縁抵抗：500MΩ以上（乾燥時） ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	適合コネクタをかん合した状態で濃度 5 %の塩水、1000 時間放置する。 	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
	耐水压性	適合コネクタをかん合した状態で水深2mに 14日間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
	2	DIS-C-00001392	TY. SUZUKI	HY. KOBAYASHI	17. 01. 26
備考 (注1) 上記規格値は適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示す (注2) 通電による温度上昇を含む。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。			承認	SU. OBARA	15. 06. 23
			検 図	HY. KOBAYASHI	15. 06. 23
			担 当	KN. IKEHARA	15. 06. 23
			製 図	KN. IKEHARA	15. 06. 23
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-119264-00-00	
	製 品 規 格 表		製品名	HR41-25WBJE-3PC	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL141-0038-0-00	 1/1